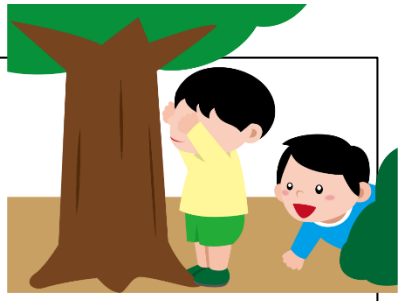
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ85

今日の一言



６．２．２２　校長　渕上　卓也

子どもは風の子、元気な子

「子どもは風の子、元気な子」表題のこの言葉を、耳にしたことはあるでしょう。「子どもは寒い風が吹く中でも、元気に外で遊びまわる。」という意味です。ところが最近の子どもたちは、寒い時は寒い時なりの過ごし方を考えるようになってきました。家では、ゲームやユーチューブですかね。

そんな現状を踏まえ、学校でも外遊びが減ってくるこの時季、体育委員会の子どもたちが、滑石っ子の体力が低下しないように外遊びを推奨しようと、「遊びカード」の取組を実施してくれました。写真の子どもたちは、たくさん外遊びをして、「遊び名人」として体育委員会から表彰された滑石っ子たちです。素敵な笑顔です。

渕上の子どもの頃を思い出すと、朝も運動場、中休みも運動場、昼休みも運動場、放課後も運動場、にいましたね。子どもの数も多くて、運動場は場所の取り合い。休み時間になると一目散に外へ駆け出して場所取りをしていました。場所を広く使うサッカーや野球は禁止。ボール遊びをしたい私たちは、とにかくドッヂボールにはまっていました。学級の友達とだけでなく、他学級に対決を申し込み、時には上級生に挑むことも・・・。楽しかったですね。休み時間のドッヂボールメインで学校へ通っていたような気がします。

表彰された６年生の一人と話をしたのですが、「ドッヂボールしようと言っても、みんな今一乗り気にならないんですよね。」「ドッヂボールしている下級生に、『僕も入れて！！』と言うんですけど、他の学年学級の人を入れるのはあまり好きではないようで・・・」とのこと。

ある番組で、野球解説者の藤川球児さんが、こんなことをおっしゃっていました。「小さい頃はドッジボールをよくしましたね。『投げる』『受ける』が上手になりました。また、みんなで協力して作戦を考えたり、ボールを譲り合ったり、苦手な子を守ってあげたり、そういう経験もたくさんすることができました。」

渕上も、休み時間の「ドッヂボール」おすすめです。

＜今日の一句＞
場所取りの
名人でした
小学生　　卓也